その他事業一覧

部名称	課名称	事業名称	令和4年度 要求額 （千円）	令和4年度 最終査定額 （千円）	頁
土木部	土木監理課	道路照明灯LED更新事業	54,050	54,050	1
道路部	道路整備課	橋りょう耐震強化事業	700,000	700,000	3
道路部	道路整備課	橋りょう長寿命化修繕事業	1,550,000	1,534,000	5
公園緑地部	公園監理課	霊園・霊堂維持管理事業	209,982	209,982	7
公園緑地部	公園監理課	里山みどりの保全事業	13,803	13,803	9
公園緑地部	公園監理課	花と緑の育成事業	86,764	86,764	11
サイクルシティ推進部	自転車企画推進課	交通安全教育及び普及・啓発	26,286	25,406	13
サイクルシティ推進部	自転車企画推進課	コミュニティサイクル事業	20,000	20,000	15
サイクルシティ推進部	自転車環境整備課	自転車通行環境整備事業	28,887	28,887	17
サイクルシティ推進部	自転車環境整備課	大和川沿川整備事業	255,000	255,000	19
サイクルシティ推進部	自転車対策事務所	有料自転車等駐車場管理運営業務	31,531	31,531	21
サイクルシティ推進部	自転車対策事務所	放置自転車撤去保管業務	121,756	121,756	23

令和4年度　事務事業予算要求シート（1）

						要求区分	その他
一般会計						事務事業分類	D　建設・整備事業
事務事業名	道路照明灯LED更新事業					事業番号	019-021
担当部署名	建設	局	土木	部	土木監理		課

Ⅰ．基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ～Resilient～	施策	(3) ゼロカーボンシティの推進
			有	取組の方向性	①脱炭素型都市構造・社会システムの構築		
		寄与するKPI	有・無	指標名	市域の温室効果ガス排出削減量（2013年度比）		
			有	現状値	14.1%(2017年度)	目標値	19.0%(2025年度)
	堺市SDGs未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール⒀気候変動に具体的対策を	ターゲット	13.3
			有	取組	省エネルギーの徹底やヒートアイランド対策の推進		
		寄与するKPI	有・無	指標名	市域の温室効果ガス排出削減量（2013年度比）		
			有	現状値	14.1%(2017年度)	目標値	15.9%(2023年)

2	関連計画	－		
3	事業開始年度	平成　29　年度	終了（予定）年度	令和　7　年度
4	実施根拠（根拠法令、条例等）	道路法		

事業の概要

5	事業の実施主体（実施主体となる団体等）	本庁、出先機関（各地域整備事務所）
6	事業の対象（対象とする人や物、対象数）	堺市民（約83万人）及び道路利用者（不特定多数）
7	事業の目的（事業実施によりめざす状態）	道路照明灯のLED化を推進することで、将来のトータルコストの縮減及びCO2の排出量削減による低炭素化・省エネルギー化を推進する。
8	事業内容（目的を達成するための手段） ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	・H28年度以前は、照明灯等については買取方式でLED化を導入していた。 ・H29年度より4ヶ年で国府道の道路照明灯約6,100灯についてリース方式でLED化 （・H29年度　北部管内幹線道路の1,785灯の道路照明灯をリース方式でLED化 ・H30年度　南部管内幹線道路の1,482灯の道路照明灯をリース方式でLED化 ・R元年度　西部管内幹線道路の1,481灯の道路照明灯をリース方式でLED化 ・R2年度　西部管内幹線道路の1,371灯の道路照明灯をリース方式でLED化） ・R3年度　東及び美原区内市道の734灯の道路照明灯をリース方式でLED化 ・R4年度にその他の区内市道の道路照明灯約8,250灯についてリース方式でLED化を早期に実施予定である。
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	－
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	保守付物品賃貸借契約先（長期継続契約）
10	公民連携・協働事業	－

Ⅱ．事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績 令和2年度	実績見込み 令和3年度	目標 令和4年度	目標　終了（予定）年度 令和7年度
11	LED化によるCO2排出削減量	t	目標値	800	800	800	800
			実績値	317	355		
			達成率	40%	44%		
	当該指標を選定した理由	市域の温室効果ガス排出削減に寄与するため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	当該事業の完了により達成されるCO2排出削減量の総量を目標値とした。					

	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績 令和2年度	実績見込み 令和3年度	目標 令和4年度
12	道路照明灯のLED化実施灯数（国府道及び市道）	灯	目標値	15,400	15,400	15,400
			実績値	6,119	6,853	
			達成率	40%	45%	
	当該指標を選定した理由	リース方式で導入可能な道路照明灯について、順次LED化を実施することで成果目標を着実に達成するため				
	目標値の設定根拠・算出方法	市域においてリース方式で導入可能な道路照明灯の総数を目標値とした。				

令和4年度　事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	道路照明灯LED更新事業	事業番号	019-021

Ⅲ．令和4年度予算要求額

事業コスト　（単位：千円）

	項　目	平成30年度 決算	令和元年度 決算	令和2年度 決算	令和3年度 予算	令和4年度 予算要求
13	事業費（a）	11,229	28,126	90,936	151,700	54,050
財源内訳	国支出金		3,060	22,000	38,000	
	府支出金					
	市債		5,200	36,800	65,100	
	その他（　　）					
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
	一般財源	11,229	19,866	32,136	48,600	54,050

事業費の内訳　（単位：千円）

14	主な項目	年度		事業費	うち一般財源	主な項目	年度		事業費	うち一般財源
事業費内訳	道路照明灯LED化工事	R3	予算	149,700	46,600		R3	予算		
	道路照明灯LED賃貸借（リース）契約	R4	予算	34,050	34,050		R4	予算		
	道路照明灯具産業廃棄物処理業務	R3	予算	2,000	2,000		R3	予算		
		R4	予算	20,000	20,000		R4	予算		
		R3	予算				R3	予算		
		R4	予算				R4	予算		
		R3	予算				R3	予算		
		R4	予算				R4	予算		
		R3	予算				R3	予算		
		R4	予算				R4	予算		

債務負担行為　（単位：千円）

15	期間	R.4～R.5	要求額	124,000

Ⅳ．スケジュール

経過及び今後の展開

16		
	R3まで	・H29～R2年度：国府道の道路照明灯をリース方式でLED化 ・R3年度：東区及び美原区内市道の道路照明灯をリース方式でLED化
	R4	その他の区内市道の道路照明灯約8,250灯についてリース方式でLED化を早期に実施
	R5以降	LED化を実施した約8,250灯についてリース開始

Ⅴ．要求のポイント

17	要求のポイント	・幹線道路のLED化はR2年度に完了しており、R4～Ｒ5年度に実施する道路照明灯約8,250灯のＬＥＤ化をもって市道のＬＥＤ化も完了となる。 ・早期にＬＥＤ化を実施することで、更なる消費電力の低減及びランニングコストの抑制を図り、市域の温室効果ガス排出の削減に寄与する。

令和4年度　事務事業予算要求シート（1）

						要求区分	その他
一般会計						事務事業分類	D 建設・整備事業
事務事業名	橋りょう耐震強化事業					事業番号	019-059
担当部署名	建設	局	道路	部	道路整備		課

Ⅰ．基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ～Resilient～	施策	(1) 自助・共助・公助のバランスのとれた防災・減災力の向上
			有	取組の方向性	②都市インフラの耐震化の推進		
		寄与するKPI	有・無	指標名	緊急交通路等における橋りょうの耐震化率		
			有	現状値	70.0%(2019年度)	目標値	97.0%(2025年度)
	堺市SDGs未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール⑾住み続けられるまちづくりを	ターゲット	11.5,11.b
			有	取組	住宅、公共施設、都市インフラの災害対策の推進		
		寄与するKPI	有・無	指標名	緊急交通路等における橋りょうの耐震化率		
			有	現状値	70.0%(2019年度)	目標値	91.0%(2023年)

2	関連計画	堺市地域防災計画、堺市国土強靱化地域計画、堺市津波避難計画、堺市橋梁耐震事業計画、堺市橋梁長寿命化修繕計画		
3	事業開始年度	平成　20　年度	終了（予定）年度	令和　10　年度
4	実施根拠（根拠法令、条例等）	道路法、河川法、港湾法、鉄道営業法		

事業の概要

5	事業の実施主体（実施主体となる団体等）	本庁
6	事業の対象（対象とする人や物、対象数）	・大規模災害時における救助、救急、医療、消火、緊急物資等の供給に携わる災害支援者及び災害時要援護者 ・橋りょうを通行する人及び車並びに施設沿道の住民及びその財産（不特定多数）
7	事業の目的（事業実施によりめざす状態）	市民の命と暮らしを守るため、今後想定される南海トラフ巨大地震などの大規模災害に備え、救急救命活動や救援物資の輸送、復旧支援活動を支えるために、「命の道」となる緊急交通路や津波避難路等に関する橋りょうの耐震化を行い、災害に強いまちづくりを推進する。
8	事業内容（目的を達成するための手段） ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	今後想定される南海トラフ巨大地震や上町断層帯地震などの大規模地震時に備え、以下の210橋の橋りょうについて耐震化を推進する。 ○重要橋りょう150橋の耐震化（令和4年度完了予定） ○緊急交通路を補完する道路に関する橋りょう24橋の耐震化 ○緊急交通路を跨ぐ横断歩道橋36橋の耐震化 令和4年度は、重要橋りょう150橋のうち最後の1橋である第二今池橋の耐震工事を推進するとともに、緊急交通路を補完する道路に関する橋りょう2橋と緊急交通路を跨ぐ横断歩道橋6橋の耐震工事に着手する。
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	―
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	業務及び工事の受注者、西日本旅客鉄道株式会社
10	公民連携・協働事業	―

Ⅱ．事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績	実績見込み	目標	目標　終了（予定）年度
				令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和10年度
	緊急交通路等における橋りょうの耐震化済橋りょう数	橋	目標値	210	210	210	210
			実績値	157	171		
			達成率	75%	81%		
	当該指標を選定した理由	耐震化済橋りょう数の年度毎における推移や進捗状況を把握するため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	耐震化の対象となる緊急交通路等における橋りょう210橋を設定。					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績	実績見込み	目標	
				令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	工事発注数	橋	目標値	12	8	8	
			実績値	12	8		
			達成率	100%	100%		
	当該指標を選定した理由	「緊急交通路等における橋りょうの耐震化率」を上げるための活動の一つとして、計画的に耐震対策工事を発注し、耐震化を推進することが重要であるため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	耐震工事を発注した橋りょう数を表す。目標は、発注予定工事の規模や予算等から設定。					

令和4年度　事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	橋りょう耐震強化事業	事業番号	019-059

Ⅲ．令和4年度予算要求額

事業コスト　（単位：千円）

	項　目		平成30年度 決算	令和元年度 決算	令和2年度 決算	令和3年度 予算	令和4年度 予算要求
13	事業費（a）		1,895,764	1,740,156	1,122,624	1,412,000	700,000
	財源内訳	国支出金	823,414	633,971	450,285	468,435	220,000
		府支出金					
		市債	961,200	945,800	601,400	835,700	419,500
		その他（　　）					
		受益者負担金(使用料、手数料等)					
		一般財源	111,150	160,385	70,939	107,865	60,500

事業費の内訳　（単位：千円）

		主な項目	年度		事業費	うち一般財源	主な項目	年度		事業費	うち一般財源
14	事業費内訳	工事監理業務	R3	予算	139,000	10,500	橋梁耐震工事	R3	予算	909,000	61,620
			R4	予算	24,000	2,000		R4	予算	410,000	28,400
		橋りょう耐震設計	R3	予算	188,000	13,995		R3	予算		
			R4	予算	40,000	13,050		R4	予算		
		橋梁委託料（JR）枠内	R3	予算	165,000	10,750		R3	予算		
			R4	予算	224,000	15,050		R4	予算		
		建設資材価格調査	R3	予算	2,000	2,000		R3	予算		
			R4	予算	2,000	2,000		R4	予算		
		交通量調査	R3	予算	9,000	9,000		R3	予算		
			R4	予算	0	0		R4	予算		

債務負担行為　（単位：千円）

15	期間	R4 ～ R5	要求額	103,000

Ⅳ．スケジュール

経過及び今後の展開

16	R3まで	緊急交通路等の耐震化率 81%（171橋/210橋）（予定）（うち、重要橋りょうの耐震化率99%（149橋/150橋）） 工事10橋、設計3橋を実施
	R4	緊急交通路等の耐震化率 88%（185橋/210橋）（予定）（重要橋りょう耐震化完了） 工事10橋、設計3橋を実施
	R5以降	緊急交通路等の耐震化率 91%（192橋/210橋）（予定） 工事を10橋程度実施

Ⅴ．要求のポイント

17	要求のポイント	重要橋りょう150橋の耐震工事とともに、緊急交通路を補完する道路などに関する橋りょう（緊急交通路等を跨ぐ横断歩道橋を含む）についても耐震設計及び工事を推進する。引き続き、国庫補助金を最大限に活用して、橋りょうの耐震強化を推進する。

令和4年度　事務事業予算要求シート（1）

						要求区分	新規・拡充
一般会計						事務事業分類	D 建設・整備事業
事務事業名	橋りょう長寿命化修繕事業					事業番号	019-060
担当部署名	建設	局	道路	部	道路整備		課

Ⅰ．基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ～Resilient～	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築
			有	取組の方向性	①計画的な長寿命化の推進		
		寄与するKPI	有・無	指標名	補修が完了した橋りょう数		
				現状値	-	目標値	80橋(2021～2025年度の累計)
	堺市SDGs未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール⑪住み続けられるまちづくりを	ターゲット	11.7
			有	取組	公共施設や都市インフラの計画的な更新・補修の推進		
		寄与するKPI	有・無	指標名	―		
				現状値	―	目標値	―
2	関連計画	堺市公共施設等総合管理計画、堺市国土強靭化地域計画、堺市橋梁長寿命化修繕計画、堺市橋梁耐震事業計画、堺市道路維持管理計画					
3	事業開始年度	平成　20　年度			終了（予定）年度	令和　7　年度	
4	実施根拠（根拠法令、条例等）	道路法・河川法・港湾法・鉄道営業法					

事業の概要

5	事業の実施主体（実施主体となる団体等）	本庁
6	事業の対象（対象とする人や物、対象数）	橋りょうを通行する人及び車並びに施設沿道の住民及びその財産（不特定多数）
7	事業の目的（事業実施によりめざす状態）	本事業は、市民の安全・安心を確保するために、本市で管理する橋りょうについて、予防保全型の考えを取り入れた維持管理を計画的に進め、橋を良好な状態で維持するとともに、将来にわたるライフサイクルコストの縮減ならびに平準化を図ることを目的とする。
8	事業内容（目的を達成するための手段） ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	本市で管理する橋りょう750橋について、法的義務である5年に1回のサイクルで、定期的に点検を行うことを基本とし、早期に損傷を発見し損傷が進行する前に計画的に補修する「予防保全」の概念を取り入れた維持管理を進めることで、橋を良好な状態に保つ。 年間事業 定期点検　150橋程度 補修設計　16橋程度 補修工事　16橋程度
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	―
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	業務並びに工事の受注者、南海電気鉄道株式会社、西日本旅客鉄道株式会社
10	公民連携・協働事業	―

Ⅱ．事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績	実績見込み	目標	目標　終了（予定）年度
				令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和7年度
	補修が完了した橋りょう数（補修が完了し安全性が向上した橋りょう数）	橋	目標値	-	16	32	80
			実績値	-	17		
			達成率	-	106%		
	当該指標を選定した理由	予防保全型の考えを取り入れた維持管理が計画的に進めていることを把握するため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	堺市基本計画2025で定めた指標に対する目標値を設定（2021～25年度の累計で80橋）					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績	実績見込み	目標	
				令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	工事発注数	橋	目標値	16	16	16	
			実績値	16	22		
			達成率	100%	138%		
	当該指標を選定した理由	橋梁長寿命化修繕計画に基づき実施している橋りょうの維持管理について、年度毎の進捗状況を把握するため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	ライフサイクルコストの縮減と平準化を図り策定した橋梁長寿命化修繕計画に基づき目標値を設定					

令和4年度　事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	橋りょう長寿命化修繕事業	事業番号	019-060

Ⅲ．令和4年度予算要求額

事業コスト

（単位：千円）

13	項　目	平成30年度 決算	令和元年度 決算	令和2年度 決算	令和3年度 予算	令和4年度 予算要求
	事業費（a）	1,325,171	1,734,367	1,492,695	1,824,231	1,550,000
財源内訳	国支出金	470,965	622,604	517,550	612,260	495,000
	府支出金					
	市債	695,500	879,000	849,500	1,040,800	904,000
	その他（　　）					
	受益者負担金(使用料、手数料等)	60,785	59,315			
	一般財源	97,921	173,448	125,645	171,171	151,000

事業費の内訳

（単位：千円）

14	主な項目	年度		事業費	うち一般財源	主な項目	年度		事業費	うち一般財源
事業費内訳	橋りょう長寿命化修繕工事	R3	予算	1,303,793	86,863	計画更新業務	R3	予算	0	0
		R4	予算	1,216,900	85,130		R4	予算	20,000	11,200
	橋りょう補修詳細設計等業務	R3	予算	140,544	11,264	ＰＣＢ処分業務	R3	予算	6,000	6,000
		R4	予算	106,000	9,120		R4	予算	1,000	1,000
	他事業者への委託業務及び工事	R3	予算	154,000	10,100	有害物質特定調査業務	R3	予算	7,791	7,791
		R4	予算	50,000	3,400		R4	予算	500	500
	工事監理業務	R3	予算	90,103	6,853	PCB運搬委託業務	R3	予算	0	0
		R4	予算	95,000	6,450		R4	予算	600	600
	橋りょう定期点検業務	R3	予算	122,000	42,300		R3	予算		
		R4	予算	60,000	33,600		R4	予算		

債務負担行為

（単位：千円）

#	期間	R4　～　R5	要求額	388,000

Ⅳ．スケジュール

経過及び今後の展開

16		
	R3まで	補修工事　27橋　（R3年度） 補修設計　17橋　（R3年度） 定期点検　165橋（R3年度）
	R4	補修工事　29橋　委託工事　1橋 補修設計　15橋（撤去含む） 定期点検　159橋
	R5以降	補修工事　20橋程度 補修設計　20橋程度 定期点検　150橋程度

Ⅴ．要求のポイント

17		
	要求のポイント	長寿命化修繕計画に基づき、道路橋（人道橋含む）18橋、横断歩道橋11橋の補修工事を実施する。また、人道橋1橋の委託工事を実施する 上記の橋梁の内、道路橋（人道橋含む）4橋及び横断歩道橋1橋については、債務負担行為を設定し工事を実施する。

令和4年度　事務事業予算要求シート（1）

						要求区分	その他
一般会計						事務事業分類	A　一般事務事業
事務事業名	霊園・霊堂維持管理事業					事業番号	019-072
担当部署名	建設	局	公園緑地	部	公園監理		課

Ⅰ．基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	—	施策	—
			無	取組の方向性	—		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
			無	現状値	—	目標値	—
	堺市SDGs未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	—	ターゲット	—
			無	取組	—		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
			無	現状値	—	目標値	—

2	関連計画	–		
3	事業開始年度	昭和　37　年度	終了（予定）年度	令和　–　年度
4	実施根拠（根拠法令、条例等）	・都市公園法　・墓地、埋葬等に関する法律 ・堺市霊園条例　・堺市立霊堂条例　・堺市墓地等の経営の許可等に関する条例		

事業の概要

5	事業の実施主体（実施主体となる団体等）	本庁・出先機関（泉ヶ丘公園事務所）
6	事業の対象（対象とする人や物、対象数）	霊園・霊堂の利用者を対象（約１３．５万人）
7	事業の目的（事業実施によりめざす状態）	先祖を祭祀するための施設として、霊園・霊堂を適正に管理・運営し、利用者に快適な公園墓地の提供を行う。
8	事業内容（目的を達成するための手段） ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	・霊園・霊堂使用者の各種申請等手続きの対応 ・空き墓地、納骨壇の新規利用者の募集 ・霊園・霊堂施設等の修繕及び樹木等の維持管理を行うための委託発注 ・老朽化した施設・電気・水道等の更新工事の計画・実施 ・墓地ニーズの多様化への対応、民間活力を生かした運営等、今後の墓地のあり方についての計画策定（令和3年度）
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	–
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	委託及び工事の受注者
10	公民連携・協働事業	–

Ⅱ．事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績	実績見込み	目標	目標　終了（予定）年度
				令和2年度	令和3年度	令和4年度	–
11	墓地使用数	区画	目標値	15,336	15,336	15,336	15,336
			実績値	14,201	14,075		
			達成率	93%	92%		
	当該指標を選定した理由	墓地の使用率が市民の墓地に対する需要の指標となるため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	墓地の総区画数における使用数					

	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績	実績見込み	目標
				令和2年度	令和3年度	令和4年度
12	園内の巡回点検	回	目標値	10	10	11
			実績値	10	10	
			達成率	100%	100%	
	当該指標を選定した理由	巡回点検により不具合箇所の早期発見・対応を行うことで景観維持に繋がり、公園墓地利用者が快適に利用できる環境を整えることで成果指標の達成に寄与すると考えているため。				
	目標値の設定根拠・算出方法	月1回の巡回点検（繁忙期の4、５月除く）				

令和4年度　事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	霊園・霊堂維持管理事業	事業番号	019-072

Ⅲ．令和4年度予算要求額

事業コスト　（単位：千円）

13	項　目	平成30年度 決算	令和元年度 決算	令和2年度 決算	令和3年度 予算	令和4年度 予算要求
	事業費（a）	260,507	191,574	219,805	351,806	209,982
財源内訳	国支出金					
	府支出金					
	市債	71,000	30,200	51,700	121,600	17,600
	その他（　基金繰入金等　）	57,499	15,848	407	82,681	45,600
	受益者負担金(使用料、手数料等)	130,343	128,851	128,035	130,690	129,093
	一般財源	1,665	16,675	39,663	16,835	17,689

事業費の内訳　（単位：千円）

14	主な項目	年度		事業費	うち一般財源	主な項目	年度		事業費	うち一般財源
事業費内訳	堺市霊園維持管理業務、霊堂清掃外業務ほか	R3	予算	130,608	16,835	通信運搬費	R3	予算	2,150	0
		R4	予算	141,157	17,689		R4	予算	2,150	0
	光熱水費	R3	予算	19,900	0	印刷製本費	R3	予算	2,027	0
		R4	予算	20,300	0		R4	予算	610	0
	霊園便所改築事業ほか	R3	予算	185,500	0	消耗品費	R3	予算	565	0
		R4	予算	33,700	0		R4	予算	565	0
	施設修繕料、物品修繕料	R3	予算	5,000	0	機器借上料	R3	予算	720	0
		R4	予算	6,000	0		R4	予算	570	0
	手数料	R3	予算	4,941	0	維持補修原材料ほか	R3	予算	395	0
		R4	予算	4,880	0		R4	予算	50	0

債務負担行為　（単位：千円）

15	期間	R4　～　R7	要求額	2,000

Ⅳ．スケジュール

経過及び今後の展開

16		
	R3まで	霊園・霊堂管理運営事業の継続実施 ・下水道整備に伴う園内トイレの水洗化完了 ・樹木更新設計業務 ・堺公園墓地のあり方についての検討等
	R4	霊園・霊堂管理運営事業の継続実施 ・樹木更新工事、設計業務 ・合葬墓整備工事実施設計
	R5以降	霊園・霊堂管理運営事業の継続実施 ・樹木更新工事、設計業務 ・合葬墓整備工事

Ⅴ．要求のポイント

17		
	要求のポイント	老朽化した施設等の改修、老木化した樹木の更新を行うとともに、墓地ニーズの多様化への対応等、新たな墓地運営の取組を進める。

令和4年度　事務事業予算要求シート（1）

						要求区分	その他
一般会計						事務事業分類	A　一般事務事業
事務事業名	里山みどりの保全事業					事業番号	019-102
担当部署名	建設	局	公園緑地	部	公園緑地整備		課

Ⅰ．基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ～Resilient～	施策	(3) ゼロカーボンシティの推進
			有	取組の方向性	④生態系や緑の保全		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
			無	現状値	—	目標値	—
	堺市SDGs未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール⒂陸の豊かさも守ろう	ターゲット	15.1 ,15.2 ,15.4 ,15.5
			有	取組	南部丘陵の里山などの保全		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
			無	現状値	—	目標値	—
2	関連計画			緑の基本計画、都市計画マスタープラン、生物多様性堺戦略、南区まちづくりビジョン			
3	事業開始年度			平成　29　年度		終了（予定）年度	令和　-　年度
4	実施根拠（根拠法令、条例等）			都市緑地法、堺市緑の保全と創出に関する条例、堺市基金条例			

事業の概要

5	事業の実施主体（実施主体となる団体等）	本庁、民間企業、NPO
6	事業の対象（対象とする人や物、対象数）	市民、民間企業、特に保全を優先すべき地区(約160ha)
7	事業の目的（事業実施によりめざす状態）	・「堺市緑の保全と創出に関する条例」の基本理念に基づき、持続可能な里地里山環境を次代に継承するため、南部丘陵等の緑豊かな自然環境の保全に取り組むことを目的とする。
8	事業内容（目的を達成するための手段） ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	・プロモーション企画・実施…緑地の維持管理や活用等、緑地保全への市民・企業等の参画を図るためのプロモーション活動「堺の森再生プロジェクト」（H27年度～）を実施するとともに、南部丘陵の持つ緑地の価値や魅力、保全の必要性等を広く発信する。 ・緑地保全啓発看板設置…南部丘陵の持つ緑地の価値や魅力、保全の必要性等を広く発信する。 ・保全緑地等の確保…緑地保全制度に基づく特別緑地保全地区制度や市民緑地制度、条例に基づく保全緑地制度等の総合的な運用を図り南部丘陵の緑地を確保。 ・保全緑地等の維持管理…工場立地法に係る敷地外緑地制度や緑地保全制度等を活用した南部丘陵の緑地の維持管理と継続保有への支援を実施。
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	–
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	–
10	公民連携・協働事業	南海電鉄㈱、㈱クボタ、アルスコーポレーション㈱　等

Ⅱ．事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

				実績	実績見込み	目標	目標　終了（予定）年度
11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		令和2年度	令和3年度	令和4年度	-
	緑地保全事業の参画団体数	団体	目標値	6	6	7	10
			実績値	0	0		
			達成率	0%	0%		
	当該指標を選定した理由	市民、事業者等の力を活かした緑地の維持管理、利用、活用の推進を図るため。（堺市緑の基本計画） ※令和2、3年度は新型コロナウィルス感染症により中止					
	目標値の設定根拠・算出方法	市民団体、企業等への呼びかけにより里山みどり保全事業に参画した団体数（堺の森再生プロジェクト参加団体数）					

				実績	実績見込み	目標
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		令和2年度	令和3年度	令和4年度
	堺の森再生プロジェクトに参加を呼びかけた企業等団体数	団体	目標値	15	15	15
			実績値	0	0	
			達成率	0%	0%	
	当該指標を選定した理由	南部丘陵の緑地の価値や魅力、保全の必要性を啓発するためのイベントへの市民団体や企業等の参画を促すため。　※令和2、3年度は新型コロナウィルス感染症により中止				
	目標値の設定根拠・算出方法	参画団体数確保のため「クールシティ・堺パートナー」参画事業者をベースに堺の森再生プロジェクトへの協力を促す。				

令和4年度　事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	里山みどりの保全事業	事業番号	019-102

Ⅲ．令和4年度予算要求額

事業コスト　（単位：千円）

	項　目		平成30年度 決算	令和元年度 決算	令和2年度 決算	令和3年度 予算	令和4年度 予算要求
13	事業費（a）		4,881	3,796	18,624	15,114	13,803
	財源内訳	国支出金					
		府支出金					
		市債			10,400	5,900	2,200
		その他（　はなみどり基金　）	1,762	922	0	4,077	6,077
		受益者負担金(使用料、手数料等)					
		一般財源	3,119	2,874	8,224	5,137	5,526

事業費の内訳　（単位：千円）

		主な項目	年度		事業費	うち一般財源	主な項目	年度		事業費	うち一般財源
14	事業費内訳	特別緑地保全地区測量等業務	R3	予算	7,900	2,000	南部丘陵保全優先地区見直し共同研究	R3	予算	3,000	0
			R4	予算	3,000	800		R4	予算	0	0
		南部丘陵緑地保全啓発看板設置工事	R3	予算	0	0	保全緑地制度指定測量業務	R3	予算	600	0
			R4	予算	5,000	0		R4	予算	600	0
		手数料	R3	予算	1,100	1,100	保存樹木支援業務	R3	予算	294	0
			R4	予算	2,689	2,689		R4	予算	294	0
		緑地保全プロモーション業務	R3	予算	1,500	1,500	その他（消耗品費、敷地外緑地維持管理業務など）	R3	予算	461	278
			R4	予算	1,500	1,500		R4	予算	461	278
		その他報償費	R3	予算	259	259					
			R4	予算	259	259					

債務負担行為　（単位：千円）

15	期間	R4　～　R14	要求額	4,000

Ⅳ．スケジュール

経過及び今後の展開

16	R3まで	・審議会の答申に基づく緑地保全の遂行 ・条例に基づく保全緑地の指定　・敷地外緑地の維持管理 ・人材育成と普及啓発を目的とするプロモーションの運営　・保存樹木等の維持管理支援 ・R2年度より、特別緑地保全地区の指定のための測量業務、土地の鑑定業務等開始
	R4	・新たな特別緑地保全地区及び保全緑地の指定（測量業務、土地の鑑定業務等を継続実施） ・緑地の価値や魅力、保全の必要性等を広く発信するための啓発看板の設置 ・人材育成と普及啓発を目的とするプロモーションの運営　・保存樹木等の維持管理支援　・敷地外緑地の維持管理
	R5以降	・新たな特別緑地保全地区及び保全緑地の指定（測量、用地購入等を継続実施） ・特別緑地保全地区及び保全緑地での市民、企業等と連携した維持管理体験、学習体験等利活用を推進 ・人材育成と普及啓発を目的とするプロモーションの運営　・保存樹木等の維持管理支援　・敷地外緑地の維持管理

Ⅴ．要求のポイント

17	要求のポイント	多様な景観と豊かな環境を育み、次代に継承していくために、南部丘陵の緑地保全の啓発や地権者と協議し土地調査や測量等を行い、都市緑地法に基づく特別緑地保全地区や堺市緑の保全と創出に関する条例に基づく保全緑地の指定に向けた取組を推進することが必要である。 特別緑地保全地区や保全緑地の指定を進めるには、市民、地権者、事業者等の緑地保全への理解が必要となるため、プロモーションの運営や看板の設置等による啓発活動を行うものである。

令和4年度　事務事業予算要求シート（1）

						要求区分	その他
一般会計						事務事業分類	A　一般事務事業
事務事業名	花と緑の育成事業					事業番号	019-103
担当部署名	建設	局	公園緑地	部	公園監理		課

Ⅰ．基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	—	施策	—
				取組の方向性	—		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
				現状値	—	目標値	—
	堺市SDGs未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール⑰パートナーシップで目標を達成しよう	ターゲット	17.17
			有	取組	地域住民のつながり強化、多様な主体の協働の促進		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
				現状値	—	目標値	—

2	関連計画	緑の基本計画、生涯学習推進プラン		
3	事業開始年度	令和　2　年度	終了（予定）年度	令和　-　年度
4	実施根拠（根拠法令、条例等）	都市緑地法、堺市緑の保全と創出に関する条例、堺市基金条例		

事業の概要

5	事業の実施主体（実施主体となる団体等）	本庁、(公財)堺市公園協会
6	事業の対象（対象とする人や物、対象数）	市民、事業者、各種団体（花のボランティア活動支援事業団体「花いっぱいやさかい」約460名、みどり活動支援事業活動者約1,200人）ほか
7	事業の目的（事業実施によりめざす状態）	「堺市緑の基本計画」に基づき、市民、事業者の協働のもとに取り組む緑化活動をサポートすることにより、都市に花と緑を広めることを目的とする。
8	事業内容（目的を達成するための手段） ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	本事業は、市民、事業者参画による都市緑化の推進を目的とした人材育成や地域緑化活動団体へのサポートを行っている。 ■活動支援事業 ・みどり活動支援事業…地域を中心とした緑化活動を行う市民団体への園芸資材、技術等を支援 ・花のボランティア活動支援事業…市の圃場で種から花苗を育てる活動を行う市民団体“花いっぱいやさかい”への園芸資材、技術等を支援 ・平成の森づくり事業…森づくりを目的とする市民団体「堺千年の森クラブ」への園芸資材、技術等を支援 ・記念樹配布事業…人生の節目においての出生、結婚、入学等を記念し、樹木を助成 ■緑化啓発と顕彰 ・堺市緑化祭…緑化推進、普及啓発、緑の保全に関する催し及び都市緑化の推進等に顕著な功績のあった方の表彰 ■公共施設緑化 ・市民花壇等管理運営事業…市民及び事業者との協働による駅前フラワーベース等の街なか拠点花壇の維持管理
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	_
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	(公財)堺市公園協会
10	公民連携・協働事業	花のボランティア活動支援事業団体「花いっぱいやさかい」、みどり活動支援事業活動者

Ⅱ．事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績 令和2年度	実績見込み 令和3年度	目標 令和4年度	目標　終了（予定）年度 -
11	市民緑化活動において緑化資材等を支援した年間団体数（みどり活動支援事業）	団体	目標値	67	72	74	76
			実績値	67	67		
			達成率	100%	93%		
	当該指標を選定した理由	「堺市緑の基本計画」において、令和3年度の目標を参加団体数72団体(校区)としており、その目標を段階的に達成するために年度ごとの目標を設定した。					
	目標値の設定根拠・算出方法	年間2団体の増加を目標としている。					

	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績 令和2年度	実績見込み 令和3年度	目標 令和4年度
12	市民緑化活動を未実施の校区に行った啓発活動	校区	目標値	–	26	26
			実績値	–	26	
			達成率	–	100%	
	当該指標を選定した理由	例年、花のボランティア活動等の横のつながりを通じ啓発活動を行っていたが、今年度より、文書でも案内文を送付する等、周知徹底や啓発活動を推進するため。				
	目標値の設定根拠・算出方法	市内全校区(93校区）-既活動校区(67校区）＝26校区				

令和4年度　事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	花と緑の育成事業	事業番号	019-103

Ⅲ．令和4年度予算要求額

事業コスト　（単位：千円）

13	項　目	平成30年度 決算	令和元年度 決算	令和2年度 決算	令和3年度 予算	令和4年度 予算要求
	事業費（a）	156,634	137,652	112,081	109,389	86,764
財源内訳	国支出金					
	府支出金					
	市債	2,900	4,200	3,400	2,700	
	その他（　はなみどり基金　）	14,168	8,044	5,932	32,834	14,534
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
	一般財源	139,566	125,408	102,749	73,855	72,230

事業費の内訳　（単位：千円）

14	主な項目	年度		事業費	うち一般財源	主な項目	年度		事業費	うち一般財源
事業費内訳	緑化推進を目的とした市民協働事業等	R3	予算	82,172	72,638	施設等修繕料	R3	予算	184	184
		R4	予算	76,377	66,843		R4	予算	663	663
	公園樹植栽整備工事ほか	R3	予算	16,300	300	印刷製本費	R3	予算	45	45
		R4	予算	0	0		R4	予算	36	36
	その他報償費	R3	予算	50	50	花の名所関連警備業務	R3	予算	0	0
		R4	予算	50	50		R4	予算	4,000	4,000
	消耗品費	R3	予算	338	338	原池圃場設備購入費	R3	予算	10,000	0
		R4	予算	338	338		R4	予算	0	0
	緑化樹配布業務	R3	予算	300	300	荒山公園圃場ビニールハウス改修工事	R3	予算	0	0
		R4	予算	300	300		R4	予算	5,000	0

債務負担行為　（単位：千円）

15	期間	R　～　R	要求額	－

Ⅳ．スケジュール

経過及び今後の展開

16		
	R3まで	本事業において、市、市民、事業者が協働のもとに取り組む花飾り活動や緑化活動に対して、市は活動に必要な花の種、樹木、改良土などの資材を地域住民に支援することで、花苗としてR2年度約6.1万株（参考：R1年度・約16万株）、記念樹木配付としてR2年度・185本、（参考：R1年度・275本）が都市緑化に寄与している。また、活動に対する顕彰、緑化啓発、公園等公共施設の緑化を適切に行うことで、市、市民、事業者が役割を適切に分担し協働することにより花と緑の育成事業を進めることができ、SDGsの目標である「17-5地域住民のつながり強化、多様な主体の協働の促進」及び「15-2都市緑化の推進」に寄与している。
	R4	引き続き、緑化活動に必要な緑化資材等の支援を行う事等により、地域活動を支える人々との連携を強化しながら、市民主体の花と緑のまちづくりを推進する。
	R5以降	引き続き、緑化活動に必要な緑化資材等の支援を行う事等により、地域活動を支える人々との連携を強化しながら、市民主体の花と緑のまちづくりを推進する。

Ⅴ．要求のポイント

17		
	要求のポイント	地域活動を支える人々との連携による市民協働事業であり、他の手段・方法が難しい事業である。R3年度にかけて事業の見直しを行いスリム化をはかっており、R4年度以降も同程度の金額が必要と考える。

令和4年度　事務事業予算要求シート（1）

						要求区分	その他
一般会計						事務事業分類	A　一般事務事業
事務事業名	交通安全教育及び普及・啓発					事業番号	019-088
担当部署名	建設	局	サイクルシティ推進	部	自転車企画推進		課

Ⅰ．基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	1.堺の特色ある歴史文化 ～Legacy～	施策	(6) 自転車を活かした魅力の創出
			有	取組の方向性	②自転車安全利用の推進		
		寄与するKPI	有・無	指標名	自転車利用環境の満足度		
			有	現状値	37.1%(参考値)(2019年度)	目標値	50.0%(2025年度)
	堺市SDGs未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール⑶すべての人に健康と福祉を	ターゲット	3.6
			有	取組	交通ルールの順守についての啓発、教育		
		寄与するKPI	有・無	指標名	―		
			無	現状値	―	目標値	―
2	関連計画	堺市交通安全計画					
3	事業開始年度	昭和　34　年度			終了（予定）年度	令和　-　年度	
4	実施根拠（根拠法令、条例等）	交通安全対策基本法第4条及び第18条、堺市交通安全対策会議条例、堺市交通安全対策会議規則					

事業の概要

5	事業の実施主体（実施主体となる団体等）	本庁、「交通事故をなくす運動」堺市推進協議会
6	事業の対象（対象とする人や物、対象数）	交通安全普及啓発全般：全市民及び市内の道路を利用するドライバー等（約83万人） 交通安全教室：市内小・中学校・特別支援学校の児童、生徒及び保育所（園）、幼稚園、こども園の園児（約4.7万人） 交通安全講習会：一般ドライバー、高齢者等（約50万人）
7	事業の目的（事業実施によりめざす状態）	警察、交通安全関係機関、諸団体と連携し、市民一人ひとりに交通ルールの遵守と交通マナーを習慣付けるとともに、道路交通の安全を確保する。
8	事業内容（目的を達成するための手段） ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	各警察署や「交通事故をなくす運動」堺市推進協議会の構成団体等と連携し、各季の交通安全運動をはじめ区民まつりや地域のイベントで幅広い年代に周知できるよう交通安全普及・啓発活動を行っている。また、地域や企業を対象に交通安全に関する出前型の講義等を実施している。 「交通事故をなくす運動」堺市推進協議会から交通指導員を委嘱しており、各校区での通学路における児童の交通安全指導等をはじめ地域での啓発活動や事業所での従業員への交通安全教育等を行っている。 小学校・子ども園等では、市内各警察署と協働し、警察官による講義や模擬道路の実技指導等を出前型教室により実施している。 また、堺市違法駐車等防止重点地域において、違法駐車防止活動を委託業務で実施している。 そのほか、市民等からの要望を受け、交通安全に係る諸問題に対し、庁内・各警察署などの行政機関等と調整し、課題解決に取り組んでいる。
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	―
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	「交通事故をなくす運動」堺市推進協議会、堺市違法駐車等防止活動業務受注者
10	公民連携・協働事業	―

Ⅱ．事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績	実績見込み	目標	目標　終了（予定）年度
				令和2年度	令和3年度	令和4年度	-
	0～15歳以下の人口1万人当たり交通事故件数	件	目標値	11	7	12	11
			実績値	8	13		
			達成率	138%	54%		
	当該指標を選定した理由	交通安全教育の普及・啓発が進展することで、子どもの交通事故件数減少につながるため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	昨年実績値の5%減少を目標値とする。ただし、目標未達成の場合は、前年度の目標値を設定する。堺市内の１５歳以下の人口１万人当たり交通事故件数を実績値とする。（人口は企画部調査統計担当年齢別人口統計表各年１月号のデータ参照）					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績	実績見込み	目標	
				令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	交通安全教室の実施	回	目標値	155	204	219	
			実績値	172	200		
			達成率	111%	98%		
	当該指標を選定した理由	学校園に交通安全教室を実施することが、本事業の目的である交通安全教育及び普及・啓発に直接寄与するため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	実施予定校園数を目標値とし、実際に交通安全教室を実施した延べ回数を実績値とする。 （※令和2年度の実施可能月数は、10カ月であったため月平均を算出（17回/月）、目標値を204回（12カ月×月平均17回）とする。）					

令和4年度　事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	交通安全教育及び普及・啓発	事業番号	019-088

Ⅲ．令和4年度予算要求額

事業コスト　（単位：千円）

	項　目		平成30年度 決算	令和元年度 決算	令和2年度 決算	令和3年度 予算	令和4年度 予算要求
13	事業費（a）		29,281	29,234	23,780	26,582	26,286
	財源内訳	国支出金					
		府支出金					
		市債					
		その他（　　）	4,000	4,000	0	0	0
		受益者負担金(使用料、手数料等)					
		一般財源	25,281	25,234	23,780	26,582	26,286

事業費の内訳　（単位：千円）

		主な項目	年度		事業費	うち一般財源	主な項目	年度		事業費	うち一般財源
14	事業費内訳	「交通事故をなくす運動」堺市推進協議会負担金	R3	予算	7,327	7,327	会計年度非常勤職員報酬（事務補助）	R3	予算	1,593	1,593
			R4	予算	6,867	6,867		R4	予算	1,661	1,661
		交通安全教育担当指導員報酬	R3	予算	10,708	10,708	会計年度非常勤職員（事務補助）期末手当	R3	予算	346	346
			R4	予算	10,708	10,708		R4	予算	353	353
		交通安全教育担当指導員期末手当	R3	予算	1,041	1,041	会計年度非常勤職員（事務補助）通勤費	R3	予算	187	187
			R4	予算	1,262	1,262		R4	予算	187	187
		交通安全教育担当指導員通勤費	R3	予算	844	844	堺の交通事故統計印刷製本	R3	予算	143	143
			R4	予算	965	965		R4	予算	44	44
		堺市違法駐車等防止活動業務委託料	R3	予算	4,000	4,000	その他（普通旅費、消耗品等）	R3	予算	393	393
			R4	予算	4,000	4,000		R4	予算	239	239

債務負担行為　（単位：千円）

15	期間	R　～　R	要求額	－

Ⅳ．スケジュール

経過及び今後の展開

16	R3まで	第11次堺市交通安全計画の策定
	R4	第11次堺市交通安全計画に基づき、数値目標達成に向けた取組の推進
	R5以降	第11次堺市交通安全計画に基づき、数値目標達成に向けた取組の推進

Ⅴ．要求のポイント

17	要求のポイント	○市内交通の安全確保に資する事業として、世代毎における交通安全教育の推進を図る。 また、交通安全に対する認識を深める「気付き」へアプローチできる施策を展開。

令和4年度　事務事業予算要求シート（1）

						要求区分	その他
一般会計						事務事業分類	A　一般事務事業
事務事業名	コミュニティサイクル事業					事業番号	019-090
担当部署名	建設	局	サイクルシティ推進	部	自転車企画推進		課

Ⅰ．基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	1.堺の特色ある歴史文化 ～Legacy～	施策	(6) 自転車を活かした魅力の創出
			有	取組の方向性	①自転車利用の拡大		
		寄与するKPI	有・無	指標名	自転車利用環境の満足度		
			有	現状値	37.1%(参考値)(2019年度)	目標値	50.0%(2025年度)
	堺市SDGs未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール⒀気候変動に具体的対策を	ターゲット	13.3
			有	取組	自転車利用環境の充実		
		寄与するKPI	有・無	指標名	市域の温室効果ガス排出削減量（2013年度比）		
			有	現状値	14.1%(2017年度)	目標値	15.9%(2023年)

2	関連計画	第2次堺市環境モデル都市行動計画、堺市自転車利用環境計画、堺市自転車利用環境計画〈追補版〉-重点アクションプラン-		
3	事業開始年度	平成　21　年度	終了（予定）年度	令和　4　年度
4	実施根拠（根拠法令、条例等）	堺市コミュニティサイクル利用実施要項		

事業の概要

5	事業の実施主体（実施主体となる団体等）	堺市
6	事業の対象（対象とする人や物、対象数）	15歳以上の市民（約73万人）や来訪者（通勤通学利用者、観光客、ビジネス利用者等外国人を含む。不特定多数）
7	事業の目的（事業実施によりめざす状態）	本市の伝統産業でもある自転車を活かした交通システムを整備することで、自動車利用中心から自転車や公共交通機関の利用を中心とした都市構造への変革（モビリティ・イノベーション）を進め、快適な暮らしとまちのにぎわいが持続する低炭素都市「クールシティ・堺」の実現に寄与することを目的とする。
8	事業内容（目的を達成するための手段） ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	令和3年度をもって、事業終了予定。令和4年度当初予算要求はコミュニティサイクルポート等の撤去事業費のみ ※参考（令和3年度までの事業内容） 駅前等複数のサイクルポート（専用駐輪場）に共用自転車を配置し、どこのサイクルポートでも貸出返却ができるコミュニティサイクルを運営することで、自転車の利用しやすい環境を整える。 令和3年度は、市内7ポートで運用　共用自転車650台で運用 【駅前サイクルポート】・堺東駅前サイクルポート　・堺駅前サイクルポート　・堺市駅前サイクルポート　・百舌鳥駅前サイクルポート　・中百舌鳥駅前サイクルポート 【まちなかサイクルポート】・堺東駅前南口サイクルポート　・利晶の杜サイクルポート
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	-
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	撤去工事請負業者
10	公民連携・協働事業	-

Ⅱ．事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績 令和2年度	実績見込み 令和3年度	目標 令和4年度	目標　終了（予定）年度 令和4年度
11	コミュニティサイクルCO2削減量	t	目標値	147	147	-	-
			実績値	82	-		
			達成率	56%	-		
	当該指標を選定した理由	事業の主目的が快適な暮らしとまちのにぎわいが持続する低炭素都市「クールシティ・堺」の実現に寄与することであるため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	・目標値…H21 環境省国庫補助金交付申請書記載のCO2排出削減目標値					

	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績 令和2年度	実績見込み 令和3年度	目標 令和4年度
12	コミュニティサイクルの利用率（契約率）	%	目標値	115	115	-
			実績値	89	-	
			達成率	77%	-	
	当該指標を選定した理由	自動車利用中心から自転車や公共交通機関の利用を中心とした都市構造への変革（モビリティ・イノベーション）を進めることが目的であるため。				
	目標値の設定根拠・算出方法	・利用率（契約率）…1日あたり契約台数/自転車台数　・目標値…マスタープランの達成目標値 ※ただし、CO2削減量の算出は、自動車利用等からの転換率を含むため利用率の実績値が成果指標に直結するものではない。				

令和4年度　事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	コミュニティサイクル事業	事業番号	019-090

Ⅲ．令和4年度予算要求額

事業コスト

（単位：千円）

13	項　　目	平成30年度 決算	令和元年度 決算	令和2年度 決算	令和3年度 予算	令和4年度 予算要求
	事業費（a）	70,920	74,129	67,836	59,939	20,000
財源内訳	国支出金					
	府支出金					
	市債					
	その他（ コミュニティサイクル貸付収入ほか ）	28,168	28,770	22,121	23,058	0
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
	一般財源	42,752	45,359	45,715	36,881	20,000

事業費の内訳

（単位：千円）

14	主な項目	年度		事業費	うち一般財源	主な項目	年度		事業費	うち一般財源
事業費内訳	撤去工事費	R3	予算	1,500	1,500	その他	R3	予算	1,818	1,818
		R4	予算	16,500	16,500		R4	予算	0	0
	コミュニティサイクル終了に伴う問い合わせ・現場対応等業務	R3	予算	0	0		R3	予算		
		R4	予算	3,500	3,500		R4	予算		
	コミュニティサイクルポート管理運営業務	R3	予算	46,688	23,630		R3	予算		
		R4	予算	0	0		R4	予算		
	コミュニティサイクルポート運用保守業務	R3	予算	9,700	9,700		R3	予算		
		R4	予算	0	0		R4	予算		
	1日利用カード発行業務	R3	予算	233	233		R3	予算		
		R4	予算	0	0		R4	予算		

債務負担行為

（単位：千円）

15	期間	R　～　R	要求額	－

Ⅳ．スケジュール

経過及び今後の展開

16		
	R3まで	駅前ポート5カ所とまちなかポート2カ所　共用自転車650台で運営
	R4	事業終了
	R5以降	-

Ⅴ．要求のポイント

17		
	要求のポイント	令和3年度で事業終了の予定であり、コミュニティサイクルポートの撤去費が必要となるため、撤去に要する事業費を要求する。

令和4年度　事務事業予算要求シート（1）

					要求区分	その他	
一般会計					事務事業分類	D 建設・整備事業	
事務事業名	自転車通行環境整備事業				事業番号	019-091	
担当部署名	建設	局	サイクルシティ推進	部	自転車環境整備		課

Ⅰ．基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	1.堺の特色ある歴史文化 ～Legacy～	施策	(6) 自転車を活かした魅力の創出
			有	取組の方向性	③自転車通行環境の形成		
		寄与するKPI	有・無	指標名	自転車利用環境の満足度		
			有	現状値	37.1%(参考値)(2019年度)	目標値	50.0%(2025年度)
	堺市SDGs未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール⑾住み続けられるまちづくりを	ターゲット	11.2
			有	取組	東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化		
		寄与するKPI	有・無	指標名	―		
			無	現状値	―	目標値	―

2	関連計画	堺市自転車利用環境計画、堺市自転車ネットワーク整備アクションプラン50km		
3	事業開始年度	平成　20　年度	点検年度	令和　7　年度
4	実施根拠（根拠法令、条例等）	根拠法令：道路法、道路交通法		

事業の概要

5	事業の実施主体（実施主体となる団体等）	堺市
6	事業の対象（対象とする人や物、対象数）	堺市民（約83万人）及び市外からの利用者（不特定多数）
7	事業の目的（事業実施によりめざす状態）	環境負荷の少ない都市交通の重要な手段である自転車の通行空間の連続性を確保したネットワークを形成することで、自転車による回遊性や快適性を高める。 また、歩行者の安全を第一とし、自転車利用者の安全にも配慮した自転車通行空間を確保することにより、自転車関連事故の減少に繋げる。
8	事業内容（目的を達成するための手段） ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	通行空間の連続性を確保した自転車ネットワークを形成し、回遊性や快適性を高める。また、広域的な自転車ネットワークの形成を推進し、自転車による周遊を促し、地域の活性化や賑わいづくりにつなげるため、自転車通行環境の整備を行う。 令和4年度は、府道堺狭山線（約0.8km）、府道堺泉北環状線（約0.1km）整備予定。
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	―
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	請負業者
10	公民連携・協働事業	―

Ⅱ．事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績	実績見込み	目標	目標　点検年度
				令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和7年度
	市民意識調査による満足度	%	目標値	50	50	50	50
			実績値	37	38		
			達成率	74%	76%		
	当該指標を選定した理由	整備効果を客観的に評価するため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	区別の最高値が堺区の約50%であるため、市内全域において同水準に向上させる。次回の市民意識調査はR3年度					

12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績	実績見込み	目標	
				令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	自転車通行環境整備延長（累計）(R7年度までの整備目標は75km)	Km	目標値	64	66	67	
			実績値	62	66		
			達成率	97%	100%		
	当該指標を選定した理由	自転車通行環境整備の各年度における推移や進捗状況を把握するため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	予算化された額と予定路線の想定単価から算出している。					

令和4年度　事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	自転車通行環境整備事業	事業番号	019-091

Ⅲ．令和4年度予算要求額

事業コスト　（単位：千円）

13	項　目	平成30年度 決算	令和元年度 決算	令和2年度 決算	令和3年度 予算	令和4年度 予算要求
	事業費（a）	200,549	176,143	128,365	79,016	28,887
財源内訳	国支出金	69,061	73,920	51,260	32,715	12,375
	府支出金					
	市債	109,300	92,200	70,100	40,100	14,000
	その他（　　）					
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
	一般財源	22,188	10,023	7,005	6,201	2,512

事業費の内訳　（単位：千円）

14	主な項目	年度		事業費	うち一般財源	主な項目	年度		事業費	うち一般財源
事業費内訳	自転車通行環境整備工事	R3	予算	58,000	3,700		R3	予算		
		R4	予算	28,000	1,625		R4	予算		
	自転車通行環境整備実施設計	R3	予算	19,483	968		R3	予算		
		R4	予算	0	0		R4	予算		
	その他経費等	R3	予算	1,533	1,533		R3	予算		
		R4	予算	887	887		R4	予算		
		R3	予算				R3	予算		
		R4	予算				R4	予算		
		R3	予算				R3	予算		
		R4	予算				R4	予算		

債務負担行為　（単位：千円）

15	期間	R　～　R	要求額	－

Ⅳ．スケジュール

経過及び今後の展開

16		
	R3まで	自転車通行環境整備工事 R3まで予定　66.0km
	R4	自転車通行環境整備工事 R4予定 0.9km
	R5以降	自転車通行環境整備工事 約1.0km/年

Ⅴ．要求のポイント

17		
	要求のポイント	堺市自転車ネットワーク整備アクションプラン５０ｋｍ（令和元年８月改定）に基づき、自転車道や自転車レーンに重点をおいた自転車通行環境の整備を推進していくことにより、自転車ネットワークの形成を図る。 令和4年度は、府道堺狭山線（約0.8km）、府道堺泉北環状線（約0.1km）整備予定。

令和4年度　事務事業予算要求シート（1）

						要求区分	その他
一般会計						事務事業分類	D 建設・整備事業
事務事業名	大和川沿川整備事業					事業番号	019-104
担当部署名	建設	局	サイクルシティ推進	部	自転車環境整備		課

Ⅰ．基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	1.堺の特色ある歴史文化 ～Legacy～	施策	(6) 自転車を活かした魅力の創出
			有	取組の方向性	③自転車通行環境の形成		
		寄与するKPI	有・無	指標名	自転車利用環境の満足度		
			有	現状値	37.1%(参考値)(2019年度)	目標値	50.0%(2025年度)
	堺市SDGs未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール⑾住み続けられるまちづくりを	ターゲット	11.2
			有	取組	東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化		
		寄与するKPI	有・無	指標名	―		
			有	現状値	―	目標値	―
2	関連計画	堺市自転車利用環境計画＜追補版＞-重点アクションプラン- 堺市かわまちづくり計画、都市再生整備計画					
3	事業開始年度	令和　1　年度			終了（予定）年度	令和　6　年度	
4	実施根拠（根拠法令、条例等）	道路法					

事業の概要

5	事業の実施主体（実施主体となる団体等）	本庁
6	事業の対象（対象とする人や物、対象数）	市民及び来堺者
7	事業の目的（事業実施によりめざす状態）	大和川左岸沿川において、阪神高速大和川線や高規格堤防事業により生み出された敷地を利活用し、安全・快適な自転車・歩行者の通行環境を整備する。また、阪堺線大和川停留場付近においては、安全な自転車利用の促進と自転車利用者の裾野拡大を目的として、サイクルポート機能と体験型自転車教育機能等を有した賑わい創出施設を民間等事業者と連携して整備する。
8	事業内容（目的を達成するための手段） ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	令和４年度の事業内容は以下のとおり 沿川通行環境整備工事（L=0.9km） 沿川通行環境整備に伴う対策工事（L=0.1km） 沿川通行環境整備詳細ほか設計（L=1.1km） 沿川通行環境整備詳細ほか設計に伴う測量（L=1.1km） 自転車賑わい拠点（民間事業者の公募・選定、自転車体験等施設詳細設計） 自転車体験等の実施
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	―
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	請負業者
10	公民連携・協働事業	―

Ⅱ．事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績 令和2年度	実績見込み 令和3年度	目標 令和4年度	目標 終了（予定）年度 令和6年度
11	沿川における自転車通行平均台数	台／日	目標値	―	―	―	1,500
			実績値	―	―		
			達成率	―	―		
	当該指標を選定した理由	自転車利用者の裾野拡大の状況を把握するため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	大和川沿川の5か所に観測地点を設定して自転車通過交通量を計測し、大和川沿川（堺市側）の交通量の平均値が約550台／日であったため、最大であった地点の交通量約1,500台／日を目標値としている（平成30年9月16日調査）。なお、自転車通行環境整備工事が令和5年度末に完了予定のため、自転車通過交通量の調査は令和6年度に予定している。					

	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績 令和2年度	実績見込み 令和3年度	目標 令和4年度
12	未利用地の整備延長	m	目標値	―	1,850	2,750
			実績値	―	1,850	
			達成率	―	100%	
	当該指標を選定した理由	各年度における整備状況を把握するため。				
	目標値の設定根拠・算出方法	予算化された額と整備箇所の想定単価から算出。（自転車通行環境整備工事は令和3年から実施）				

令和4年度　事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	大和川沿川整備事業	事業番号	019-104

Ⅲ．令和4年度予算要求額

事業コスト　（単位：千円）

	項　目	平成30年度 決算	令和元年度 決算	令和2年度 決算	令和3年度 予算	令和4年度 予算要求
13	事業費（a）	0	0	60,143	686,179	255,000
財源内訳	国支出金			2,585	301,515	8,500
	府支出金					
	市債			37,000	325,800	221,100
	その他（　　）			3,191	10,640	600
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
	一般財源			17,367	48,224	24,800

事業費の内訳　（単位：千円）

14 事業費内訳	主な項目	年度		事業費	うち一般財源	主な項目	年度		事業費	うち一般財源
	沿川通行環境整備詳細ほか設計業務	R3	予算	0	0	沿川通行環境整備工事	R3	予算	198,640	6,880
		R4	予算	7,700	900		R4	予算	216,900	20,900
	沿川通行環境整備詳細ほか設計業務に伴う測量業務	R3	予算	0	0	沿川通行環境整備に伴う対策工事	R3	予算	0	0
		R4	予算	3,900	500		R4	予算	20,000	2,000
	松屋大和川１０１号線ほか通行環境詳細設計業務ほか	R3	予算	20,539	999	事業者募集要項作成及び公募選定支援業務	R3	予算	16,000	3,200
		R4	予算	0	0		R4	予算	0	0
	遠里小野砂道１号線ほか道路整備ほか工事	R3	予算	309,000	28,110	自転車体験等施設詳細設計業務	R3	予算	20,000	400
		R4	予算	0	0		R4	予算	6,000	0
	踏切改良等整備工事	R3	予算	122,000	8,060	自転車体験等実施業務	R3	予算	0	0
		R4	予算	0	0		R4	予算	500	500

債務負担行為　（単位：千円）

15	期間	R4 ～ R6	要求額	314,000

Ⅳ．スケジュール

経過及び今後の展開

16		
	R3まで	堺市かわまちづくり計画の策定 大和川沿川における安全快適な通行環境の形成 事業者の公募・決定
	R4	大和川沿川における安全快適な通行環境の形成 事業者による自転車体験等施設詳細設計業務
	R5以降	大和川沿川における安全快適な通行環境の形成 事業者による自転車体験等施設整備

Ⅴ．要求のポイント

17	要求のポイント	・大和川沿川において、国の登録を受けた「堺市かわまちづくり計画」や「堺市自転車利用環境計画（追補版）」に基づき、安全快適な自転車通行環境の整備を進める。 ・2025年の大阪・関西万博を契機として、広域的な自転車ネットワークの構築（大和川サイクルラインの指定）を行うとともに会場に向かう案内サインの設置のための詳細設計を実施する。 ・大和川を中心として、国交省、大阪府、沿川自治体（大阪市、八尾市、松原市、柏原市、羽曳野市、藤井寺市、三郷町）、民間等と連携して自転車を活かしたイベントの開催を予定しており、本市においても本イベントにあわせて、自転車利用者の裾野拡大に向け、自転車の楽しさや楽しむ"きっかけ"となるような機会を提供する自転車体験等を実施するもの。【新規】

令和4年度　事務事業予算要求シート（1）

						要求区分	その他
一般会計						事務事業分類	E　指定管理者事業
事務事業名	有料自転車等駐車場管理運営業務					事業番号	019-092
担当部署名	建設	局	サイクルシティ推進	部	自転車対策事務所		課

Ⅰ．基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	1.堺の特色ある歴史文化 ～Legacy～	施策	(6) 自転車を活かした魅力の創出
			有	取組の方向性	④自転車駐輪環境の充実		
		寄与するKPI	有・無	指標名	自転車利用環境の満足度		
			有	現状値	37.1%(参考値)(2019年度)	目標値	50.0%(2025年度)
	堺市SDGs未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール⒀気候変動に具体的対策を	ターゲット	13.3
			有	取組	自転車利用環境の充実		
		寄与するKPI	有・無	指標名	―		
			無	現状値	―	目標値	―

2	関連計画	堺市自転車利用環境計画及び同計画追補版		
3	事業開始年度	昭和　62　年度	終了（予定）年度	令和　7　年度
4	実施根拠（根拠法令、条例等）	堺市自転車等の放置防止に関する条例		

事業の概要

5	事業の実施主体（実施主体となる団体等）	堺市
6	事業の対象（対象とする人や物、対象数）	堺市内外から自転車等を利用する通勤・通学者
7	事業の目的（事業実施によりめざす状態）	堺市自転車等の放置防止に関する条例に基づき、駅周辺における自転車等の駐車秩序を確立することにより、良好な都市環境と交通の円滑化を図り、安全で快適な生活環境を実現する。
8	事業内容（目的を達成するための手段） ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	【有料化した駐輪場の管理運営業務】 市内27駅　81箇所　収容台数　45,037台（令和3年4月1日時点） 平成23年度より指定管理者制度の導入 指定期間　令和3年4月1日～令和8年3月31日（5年間）
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	–
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	土地借上料（各土地所有者へ支出）
10	公民連携・協働事業	–

Ⅱ．事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績 令和2年度	実績見込み 令和3年度	目標 令和4年度	目標（終了（予定）年度） 令和7年度
11	利用者満足度の向上（管理人の接遇態度）	%	目標値	85	90	90	90
			実績値	88	90		
			達成率	104%	100%		
	当該指標を選定した理由	利用者満足度の向上により、より駐輪場を利用してもらうため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	指定管理者募集の際の業務仕様書における市の求める取組目標値					

	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績 令和2年度	実績見込み 令和3年度	目標 令和4年度
12	管理人（指定管理者）のCS向上研修の実施回数等	回	目標値	1	1	1
			実績値	1	1	
			達成率	100%	100%	
	当該指標を選定した理由	利用者満足度の向上に資するため、管理人のCS向上研修を実施する。				
	目標値の設定根拠・算出方法	利用者満足度の向上のため、管理人のCS向上研修を実施（コロナ禍のため必要最小限の回数を実施目標とする）				

令和4年度　事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	有料自転車等駐車場管理運営業務	事業番号	019-092

Ⅲ．令和4年度予算要求額

事業コスト

（単位：千円）

13	項　目	平成30年度 決算	令和元年度 決算	令和2年度 決算	令和3年度 予算	令和4年度 予算要求
	事業費 (a)	39,565	33,047	33,651	36,641	31,531
財源内訳	国支出金					
	府支出金					
	市債				4,300	
	その他（　指定管理者納付金等　）	15,858	16,560	16,585	17,265	16,203
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
	一般財源	23,707	16,487	17,066	15,076	15,328

事業費の内訳

（単位：千円）

14	主な項目	年度		事業費	うち一般財源	主な項目	年度		事業費	うち一般財源
事業費内訳	土地借上料	R3	予算	25,088	8,580	堺銀座商店街振興組合維持管理費等負担金	R3	予算	120	120
		R4	予算	24,000	8,580		R4	予算	120	120
	施設等修繕料	R3	予算	2,435	1,813	整備等工事費	R3	予算	5,913	1,613
		R4	予算	5,383	5,383		R4	予算	100	100
	北野田駅前Ｂ地区管理組合共益費負担金	R3	予算	1,710	1,710	除草剪定業務	R3	予算	1,000	1,000
		R4	予算	1,553	1,553		R4	予算	0	0
	建築基準法第12条にかかる調査委託料	R3	予算	240	240		R3	予算		
		R4	予算	240	240		R4	予算		
	自家用電気工作物保安管理業務	R3	予算	135	0		R3	予算		
		R4	予算	135	0		R4	予算		

債務負担行為

（単位：千円）

15	期間	R　～　R	要求額	－

Ⅳ．スケジュール

経過及び今後の展開

16		
	R3まで	・平成23年度から指定管理者制度導入 ・平成28年度から指定管理者変更
	R4	・事業の継続実施 ・自転車等駐車場の機械式駐輪機の設置やキャッシュレス化など、利便性や快適性の向上
	R5以降	・自転車等駐車場の機械式駐輪機の設置やキャッシュレス化など、利便性や快適性の向上

Ⅴ．要求のポイント

17		
	要求のポイント	・指定管理者と協力し、駐輪場の利便性や快適性の向上に取り組む。

令和4年度　事務事業予算要求シート（1）

						要求区分	その他
一般会計						事務事業分類	A　一般事務事業
事務事業名	放置自転車撤去保管業務					事業番号	019-093
担当部署名	建設	局	サイクルシティ推進	部	自転車対策事務所		課

Ⅰ．基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	1.堺の特色ある歴史文化 ～Legacy～	施策	(6) 自転車を活かした魅力の創出
			有	取組の方向性	④自転車駐輪環境の充実		
		寄与するKPI	有・無	指標名	自転車利用環境の満足度		
			有	現状値	37.1%(参考値)(2019年度)	目標値	50.0%(2025年度)
	堺市SDGs未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール⒀気候変動に具体的対策を	ターゲット	13.3
			有	取組	自転車利用環境の充実		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
			無	現状値	—	目標値	—

2	関連計画	堺市自転車利用環境計画及び同計画追補版		
3	事業開始年度	昭和　62　年度	終了（予定）年度	令和　7　年度
4	実施根拠（根拠法令、条例等）	堺市自転車等の放置防止に関する条例		

事業の概要

5	事業の実施主体（実施主体となる団体等）	堺市
6	事業の対象（対象とする人や物、対象数）	放置禁止区域内に置かれた自転車・原動機付自転車（不特定多数）
7	事業の目的（事業実施によりめざす状態）	鉄道駅周辺の放置禁止区域における自転車や原動機付自転車の路上放置を解消し、良好な都市環境と安全・安心な通行空間の確保を推進する。
8	事業内容（目的を達成するための手段） ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	・放置自転車等撤去・運搬業務 搬送用２ｔトラック（運転手他２名）3台により市内27駅を巡回の上、撤去、運搬。　（年間稼働日数244日） ・撤去自転車等保管返還業務 撤去した自転車等を保管返還所で保管し、利用者等から返還の申し出があれば、保管返還手数料を徴収し返還。 ・放置自転車対策業務 主要駅前等において、放置禁止区域内での放置防止や駐輪場利用の促進に向けた助言・啓発。
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	－
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	請負業者（委託）
10	公民連携・協働事業	－

Ⅱ．事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績 令和2年度	実績見込み 令和3年度	目標 令和4年度	目標 終了（予定）年度 令和7年度
11	放置自転車等台数（１日あたり）	台	目標値	456	456	456	456
			実績値	424	456		
			達成率	93%	100%		
	当該指標を選定した理由	放置自転車等を減少させていくことが事業目的のため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策による外出自粛要請等の影響を受けたため、目標値については据え置きしている。					

	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績 令和2年度	実績見込み 令和3年度	目標 令和4年度
12	放置自転車等撤去台数	台	目標値	－	－	－
			実績値	7,129	－	
			達成率	－	－	
	当該指標を選定した理由	放置自転車等の台数を年度ごとに把握し、事業の改善につなげるため。				
	目標値の設定根拠・算出方法	目標は現実的な目標値を設定できないため空白とする。				

令和4年度　事務事業予算要求シート（2）

事務事業名	放置自転車撤去保管業務	事業番号	019-093

Ⅲ．令和4年度予算要求額

事業コスト

（単位：千円）

13	項　目	平成30年度 決算	令和元年度 決算	令和2年度 決算	令和3年度 予算	令和4年度 予算要求
	事業費 (a)	143,135	147,521	150,734	133,988	121,756
財源内訳	国支出金					
	府支出金					
	市債					1,500
	その他（　撤去保管手数料等　）	18,272	14,014	6,798	15,000	11,081
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
	一般財源	124,863	133,507	143,936	118,988	109,175

事業費の内訳

（単位：千円）

14	主な項目	年度		事業費	うち一般財源	主な項目	年度		事業費	うち一般財源
事業費内訳	放置自転車等対策・撤去運搬・保管返還業務	R3	予算	108,014	93,014	建物借上料	R3	予算	1,200	1,200
		R4	予算	96,998	85,917		R4	予算	1,200	1,200
	機械・機器等借上料（領収書発行機4台）	R3	予算	4,797	4,797	深井自転車保管返還所植栽等剪定業務	R3	予算	0	0
		R4	予算	4,797	4,797		R4	予算	1,000	1,000
	情報システム機器借上料（ＩＴ経費）	R3	予算	2,592	2,592	通信運搬費	R3	予算	880	880
		R4	予算	2,592	2,592		R4	予算	880	880
	三国ヶ丘自転車保管返還所パレコン更新工事設計業務	R3	予算	0	0	深井自転車保管返還所機械警備業務	R3	予算	792	792
		R4	予算	2,000	500		R4	予算	792	792
	電気使用料	R3	予算	1,600	1,600	その他（委託料、役務費など）	R3	予算	14,113	14,113
		R4	予算	1,600	1,600		R4	予算	9,897	9,897

債務負担行為

（単位：千円）

15	期間	R　～　R	要求額	－

Ⅳ．スケジュール

経過及び今後の展開

16		
	R3まで	放置防止啓発業務や撤去業務の実施により、放置自転車等の減少に努めた
	R4	放置防止啓発業務や撤去業務の継続実施
	R5以降	放置防止啓発業務や撤去業務の継続実施

Ⅴ．要求のポイント

17		
	要求のポイント	今後、三国ヶ丘自転車保管返還所において放置自転車等の収容台数の増加が見込まれるため、パレットコンベア更新工事の設計を行う。